



避難情報

集中豪雨や台風などによって水害や土砂災害などの災害が発生する恐れがある時、避難に関する情報や防災気象情報等の防災情報を5段階の「警戒レベル」でお知らせします。

気象情報等(気象庁が発表)	警戒レベル	避難情報等	取るべき行動
警戒レベル2相当情報 大雨・洪水注意報 氾濫注意情報	1	早期注意情報 (気象庁が発表) 今後気象状況悪化のおそれ	今後の気象情報を確認 最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めましょう。
警戒レベル3相当情報 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	2	大雨・洪水注意報 (気象庁が発表) 気象状況悪化	自分の避難行動を確認 ハザードマップ等により、災害が想定される区域や避難先、避難経路を確認しましょう。
警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	3	高齢者等避難 (総社市が発令) 災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、河川の水位情報等を用いて避難の準備をしたり、自主的に避難を行うなどしてください。 ※高齢者等…避難に時間を要する人(高齢者・障がい者・妊産婦・乳幼児等)とその支援者
警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 氾濫発生情報	4	避難指示 (総社市が発令) 災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況です。この段階までに避難を完了しておきましょう。
警戒レベル4までに必ず避難!			
	5	緊急安全確保 (総社市が発令) 災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保! 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保してください。

避難行動確認フロー

取るべき避難行動について確認し、緊急時の速やかな避難に繋がしましょう。

※この防災マップでは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色しています。また、着色されていないところでも災害が起こる可能性はあります。

START!

防災マップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。



家がある場所に色が塗られていますか?
(浸水や土砂災害の危険がある)

いいえ

在宅避難

自宅に留まり安全確保することが可能です。周り比べて低い土地やがけのそばにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、
原則として自宅の外に避難が必要です。

指定避難所・指定緊急避難場所
親戚・知人宅(普段から相談しておきましょう。)
旅館・ホテル(通常の宿泊料が必要です。)

【例外】

家が土砂災害警戒区域の外にあり、浸水する深さより高い場所にある場合は、自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。ただし、浸水後に水が引くまでの水や食料などの備えが必要となります。また、川の近くなど、洪水時に家屋が流されたり倒されたりする恐れがある場所にお住まいの方は、自宅での安全確保が危険なため、立ち退き避難をしてください。